

プラット ニュース

vol. 18





市民とともに、 楽しさだけではない、 演出家・扇田拓也の 代表作を目指す。

市民と創造する演劇

『夏の夜の夢』

2016年3月5日・6日 PLAT主ホール

市民と創造する演劇は、2015年のスケッチ群像劇『話しグルマ』に続いて2度目。そう、これも「舞台芸術を核とした東三河地域の新たな芸術文化の創造拠点、舞台芸術を通じた人々の出会いと交流の拠点」を掲げるプラットの大事なプロジェクト。今年は、気鋭の演出家・扇田拓也さんが市民とともにシェイクスピアの『夏の夜の夢』に挑む。

稽古写真—伊藤華織



「それにしても市民参加者66名というのはすごい人数です。それに集まった皆さんがものすごく個性豊か。いい意味で自由というか、わがまま(笑)。『夏の夜の夢』は舞台でこそ輝く奔放な人物がたくさん登場するからびったり!東京ではここまでの個性は集まらない気がします。それにグループ別の自主稽古をお願いすると、口論になってしまうこともあるみたいで(苦笑)。それくらい芝居のことを考えてくれている熱い方々ばかりなんです」と扇田拓也さん。プラットには、今年度の文化庁芸術祭演劇部門新人賞を受賞した劇作家・長田育恵率いるてがみ座『汽水域』

の演出で縁ができた。

2015年3月上演の「スケッチ群像劇『話しグルマ』」(構成・演出:近藤芳正)では17歳から68歳まで市民出演者34名が集まった。今年は演劇の魅力に取り憑かれた市民が増えたのか、54名(16歳から72歳まで)も。といっても、2015年4月後半に豊橋のリサーチを兼ねたワークショップ、7月のオーディションを行った扇田さんが選んだのだから・・・(苦笑)。11月の出演者ワークショップを経て、新年早々の第一次稽古では早くも全シーンを粗通し、出演者のテンションはすでにマックスに向かい、稽古場は笑いであふれています。

祝祭の陰に世界の不安を見せる 1000年後の物語

扇田さんが選んだ戯曲はシェイクスピアの『夏の夜の夢』。しかし、そのまま上演するわけではなく、独自のアイデアを盛り込んだ脚本を、演出助手も担当する永妻優一さんが新たに書き下ろしました。静岡県舞台芸術センターを拠点とする劇団SPACの作品で数多く音楽監督を務める棚川寛子さんの創る音楽を全シーン通して市民が生演奏するのも、大きな見所のひとつになりそう。

扇田●「最初は祝祭劇だし、皆さんが楽し



んでくださればいいかなと思って作品を選びましたが、そこに自分らしさをどう入れようか考えていたら僕のネクラな部分かわきあがってきたんです(笑)。普通の『夏夢』を装いながらも、実は、徐々に見ている方を裏切っていくところが見せ場。だからあまり内容は話せないんですけど」

と、父に結婚相手押し付けられそうになって恋人と駆け落ちするハーミアを演じた経験を持つ中島シニアプロデューサーから「私は名作をいじるのはとても勇気があるので、よほど核がないとできないことだと思うんです。原作に出てくるアーデンの森で2組の若い男女と妖精が繰り広げる出来事は、新月ですから何もかもが闇に包まれた中で秘密裏に繰り広げられるでしょ。アーデンの森は、今回は遺跡の森になっていますが、ブラックホールの役割をしているよう。そして扇田版はハッピー、ハッピーな話ではありませんよね。その狙いを聞きたいな」とツッコミが入ります。

扇田●「今の日本のやっかいな状況、臭いものに蓋をしがちな風潮、切実な世界情勢などから目を背けて、市民参加のお祭りで終わってしまうのはどうか。そう思った時に『夏夢』には月の話題がいっぱい出てくる。新たな脚本はその“月”と人間の関係を掘り下げて描いた未来、そう西暦3000年くらいの物語になっています。そして楽しさ、おかしさもあるけれど、ダークな根深さ、切なさも見せられたらいいな」

ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、シェイクスピアは設定などを自由に翻案することが許されています。扇田版『夏夢』は、せりふは現代的でシンプル、物語もそのままだけれど、それを包むもう一つの物語が裏切りの正体です。

人との関係性、文字からだけではない創造に時間を割く

中島●「市民参加劇という、ついつい楽しさに流れてしまう傾向があります。個人的な考えですが、演劇はそんなに簡単なものじゃないんだと。演劇は他人の言葉を借りて、本当は自分の心の奥底にある感情を言うこともある。言ったら嫌われるかもしれない、とても嫌な役回りを演じなければいけないこともあって、自己との葛藤が起きる。でも私はどんな初めての人も集中した時に、思わず琴線に触れる言葉が出てくるから面白いと思うんです。それは演劇の力というよりも、コミュニティで生きていくのにとても必要なこと。時に厳しく指導してくださいね(笑)」

扇田●「まさにそうだと思います。せりふをシンプルにしたのは、せりふを覚えることに時間をかけすぎると、人との関係性、かわり、文字からだけではない創造に時間を割きたかったから。入口を優しくするとい

うだけで、実際に演劇としてやろうとしていることはなるべく難しいことを目指したい」

決してプロが市民を指導するのではなく、ともに切磋琢磨して、刺激を受け合っくクオリティーも高い作品を作り上げていくのがこのプロジェクトの狙い。試行錯誤は始まったばかりです。

中島●「破天荒な内容をしゃべりながらも、真実の言葉がいくつかわぶされているのがシェイクスピア。その言葉を57人の俳優と共有すれば、素晴らしい舞台ができると思います。扇田さんの代表作をぜひ作ってください」

扇田●「ぜひ、多くの市民の皆さんに観に来ていただきたいですね。そして66人分の情熱を受け取ってほしい。今回のような企画が毎年続いて、いつか“市民劇と言えば豊橋!”となったら最高ですね」

[せんだ・たくや] 1976年、東京都出身。演出家・俳優。1996年にヒンドゥー五千回を旗揚げ、全作品の構成・演出を担当。近年は、演劇ユニットでがみ座をはじめ外部への演出に取り組んでいる。世田谷パブリックシアターが主催する舞台技術者養成講座の演出講師を担当(2010、11年)。神奈川県立川崎高等学校の非常勤講師として演劇の授業を持つ。



市民と創造する演劇『夏の夜の夢』

- 作=W.シェイクスピア
[河合祥一郎訳『夏の夜の夢』より]
- 構成・演出=扇田拓也
- 脚本・演出助手=永妻優一
- 音楽=棚川寛子
- 出演=オーディションで選ばれた一般市民
大木実奈/加藤紗希/橋本昭博
- 日時=2016年3月5日[土]/6日[日]
両日14:30開演 ※5日の公演終了後トークあり
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]一般:2,000円
ユース[24歳以下]:1,000円
こども[高校生以下]:500円

“当たる、当たる”オイスターズに嫉妬しろ!! 地元の雄よ、プラットに挑戦せよ! 「アールスペース」が地元劇団の挑戦の場に

オイスターズ 『この声』

2016年3月12日・13日
PLATアールスペース

開館から3年、大小さまざまな演劇を主催してきたプラット。いよいよ、地元・東海圏の劇団にも門戸を開く。その第1弾は、名古屋を拠点にしつつも東京、兵庫、仙台、九州などを势力的にツアー公演している劇団「オイスターズ」。「よく当たる(牡蠣=ヒット作連発!)」の意味を含めた名前の劇団は、各地をめぐる濃厚な味わいの新作『この声』でプラットに殴り込み! 果たしてどんな劇団なのか、劇作・演出を担う平塚直隆を直撃!



オイスターズは、主宰で俳優の中尾達也と、平塚の出会いから旗揚げされた。中尾はジャブジャブサーキット(はせひろいち主宰)、平塚はプロジェクトナビ(北村想主宰、2003年解散)という名古屋を代表する劇団の出身だ。名古屋の小劇場シーンは、北村、天野天街(少年王者館)、次の世代の佃典彦(劇団B級遊撃隊)、はせが牽引し、年齢的には中尾&平塚は次々世代に当たる。とはいえオイスターズ旗揚げは2005年だから若いメンバーも多い。

平塚の経歴を見ると受賞歴の数に目が留まる。処女作『居酒屋ううれい』が2000年に北海道「北の戯曲賞」で佳作を受賞したのを皮切りに、盛岡、仙台、愛知、それから日本劇作家協会新人戯曲賞、佐藤佐吉演劇賞を射止めてきた懸賞荒らしならぬ戯曲賞荒らしなのだ。全国の戯曲コンクールで大賞相当3本、佳作5本の受賞は国内最多らしい。すごい!

平塚●「ナビで役者をしていたころから興味本意で書いて、舞台化したいという衝動もないまま応募していたんです。パソコンに全国の戯曲賞の予定を貼って、売れっ子作家気取りで締め切りを決めて新作を書いていたんです。27、28のところですね。三谷幸喜さんのようなコメディイでしたけど、恥ずかしいので劇団員にも見せていません。戯曲賞の審査員しか読んでない(笑)。だからオイスターズを始めてから、演じることを前提にした戯曲を書くようになったわけですけど全然違いましたね」

なるほど! 劇団名が受賞歴ほど演劇ファンに知れ渡っていないのは(失礼!), そんな理由からだったのだ。

とはいえ平塚の戯曲には、名古屋の小劇場演劇のエッセンスがしっかり流れている。先輩世代の劇作家たちが不条理劇、



舞台写真は2015年11月公演『その味』より



ごく普通の日常から、主人公が奇妙な世界に巻き込まれていく喜劇を描く顔ぶれだったためだ。

平塚●「名古屋はにぎやかなエンタメというよりドライな、ベタつかない会話劇が多いですね。そのへんは確かに受け継いでいます。よく名古屋って変わっているとされますけど、自分たちはこれが普通でしたから(笑)」

戯曲賞荒らしの本質は演出にこそある?

劇団サイトを見ると、自分たちの紹介をこう書いている。「過剰なまでに会話劇」を劇団のテーマとし、動かない役者が棒立ち棒読みで喋っていたただの下手クソ集団なんじゃないかと思われる」と。けれど、この言葉、センスにこそ、オイスターズの本質が込められている。

平塚●「僕が役者に求めるのは好感度。演出する時に“その芝居、好感度低いよ

ね”とかよく言います。僕が押しが強い演技とか、かっこつけた芝居とかが苦手なんです。それにどんなに悪い役だろうが好感度が高くないと、その人を見てられない。うるさいです、そのへんは。普段いるのかいないのかわからないような人を極限状態に置くとうなるかに興味があるみたい。だから僕はキャスティングする段階で、いえ、入団希望者さえもアクがない人を選びがちです。無個性の役者を非現実的な状況に置いて、おかしなことになるのが楽しい。どう動くかわかってしまう人には興味がないんです。あの人がこんなふうになってしまった、そこにおかしさがある」

ひょうひょうと語る平塚だが、12月にプラットで行った市民対象の演劇ワークショップでは、参加者から途切れないやる気と集中力を引き出す言葉、さらに緊張とリラックスにうまく誘う間合いと術を持っていた。演出家としてはマグニフィセント(素晴らしい、崇高)な魅力があるのだ。

プラットで上演される『この声』は、嗅覚、味覚、視覚、触覚を題材にした五感シリーズの最新作で、聴覚を題材にしている。ゾンビ(!)になりかかっている友達をめぐる女子高生3人と、彼女たちを担当しているわけでもないのに「暇そうだから」とそれぞれから別々に相談をされる美術教師の噛み合わないやりとりが、いつしか美術教師を窮地に陥れていく。装置がない、BGMもない、大きな照明の変化もない舞台だが、最初のせりふの応酬から観客を美術準備室を覗き見する傍観者へと変身させる。平塚●「僕らは会話、会話とよく言いますが、言葉って実は伝わらないものなんです。一生懸命に伝えているのに誤解されるし、全く正しく伝わらないんだ、というこ

とを描いています。結局、人って主観でしか動いていない。見ることも、聞くことも、臭いも、その人次第。このシリーズを書くことで、僕は孤独だな、誰にもわかってもらえないんだと改めて思いました。ある意味、自分のことを考えるよい機会になりました(苦笑)」

兵庫県伊丹市、名古屋市、東京を経て、もともと熟成された状態でやってくるプラット。平塚●「実は、豊橋にすごい劇場ができるという新聞記事は読んでいて、その時の制作さんにここでやりたいからアプローチしてほしいという話をしていたんです。実現したのでうれしいです」

そうそう、あらぬ結末に巻き込まれる、美術教師役・田内康介は豊橋出身なのを最後に添えておこう。

[ひらつか・なおたか] 1975年名古屋市生まれ。劇作家・演出家・俳優。2001年プロジェクト・ナビ入団。以降、解散までほぼすべての北村想作品に出演。並行して、劇団ジャブジャブサーキット・はせひろいち氏に戯曲を学ぶ。2005年にオイスターズを結成し、全作品の作・演出を手がけている。外部への書き下ろし、ラジオドラマへの脚本提供、プロダクションや専門学校、ワークショップ講師としても活動多数。日本演出者協会会員。日本劇作家協会東海支部・支部長。

オイスターズ『この声』

- 作・演出＝平塚直隆
- 出演＝田内康介／横山更紗／川上珠来
大脇ぼんだ [劇団B級遊撃隊]
- 日時＝2016年3月12日[土]／13日[日]
両日14:30開演
- 会場＝PLAT アートスペース
- 料金＝[全席自由・日時指定・整理番号付き]
一般:3,000円
U24 [24歳以下]:1,500円
高校生以下:1,000円
ペア割 [要予約・一般のみ]:5,000円





5/4 WED—5/5 THU

とよはしアートフェスティバル2016

大道芸 in とよはし

今年も大道芸がやってくる! ゴールデンウィークの二日間、世界で活躍する大道芸人たちが豊橋駅周辺を劇場に変身させます。

- 日程=5月4日[水・祝]・5日[木・祝] ● 料金=無料
- 会場=穂の国とよはし芸術劇場PLAT
豊橋駅南口駅前広場/ 広小路通り ほか

♡ ボランティアスタッフ大募集♡

『大道芸inとよはし』と一緒に盛り上げてくれる仲間を募集!

- 日程=5月4日[水・祝]・5日[木・祝]
 - 業務時間=10:00-18:00を予定
 - 参加条件=18歳以上で事前に行われる説明会に参加できる方
 - 説明会=4月15日[金]・16日[土]
- ※詳細が決まり次第、劇場ホームページなどで告知いたします。

6/25 SAT—6/26 SUN

マクベス

会員先行=3月5日[土] 一般発売=3月19日[土]

わずか5人の出演者で、物語は分かりやすくシンプルに、登場人物が抱える不安や葛藤といった内面は丹念かつ丁寧に描いた、野村萬斎構成・演出による『マクベス』。世界各地(ニューヨーク、ソウル、シビウ、パリ)で熱狂的に迎えられた作品がマクベス夫人に鈴木砂羽を迎えて装いも新たに甦ります。

- 作=W.シェイクスピア
- 翻訳=河合祥一郎
- 構成・演出=野村萬斎
- 出演=野村萬斎/鈴木砂羽
小林桂太/高田恵篤/福士恵二
- 日時=6月25日[土]・26日[日]
両日13:00開演
- ※26日のみ公演終了後トークあり
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席:7,000円
A席:5,000円/B席:3,000円 ほか



世田谷パブリックシアター「マクベス」2013 撮影:石川純

3/5 SAT—3/6 SUN

市民と創造する演劇 夏の夜の夢

- 作=W.シェイクスピア(河合祥一郎訳「夏の夜の夢」より)
- 構成・演出=扇田拓也 ● 出演=オーディションで選ばれた一般市民 ほか
- 日時=3月5日[土]・6日[日] 両日14:30開演
- ※5日公演終了後トークあり
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] 一般:2,000円/ユース[24歳以下]:1,000円
こども[高校生以下]:500円

好評発売中

3/12 SAT—3/13 SUN

オイスターズ この声

- 作・演出=平塚直隆
- 出演=田内康介/横山更紗/川上珠来/大脇ぼんだ
- 日時=3月12日[土]・13日[日] 両日14:30開演
- ※両日とも公演終了後トークあり
- 会場=PLATアトスペース
- 料金=[全席自由・日時指定・整理番号付き] 一般:3,000円 ほか

好評発売中

4/22 FRI—4/23 SAT

詩のリーディング (お)もろい夫婦

- 会員先行=2月14日[日] 一般発売=2月27日[土]
- 平田俊子さんご本人を迎え、PLATアトスペース客席150席程度の密な空間に仕立てて詩のリーディング公演を開催いたします。
- 作=平田俊子 ● 構成・演出=平田 満
- 出演=平田 満/井上加奈子/平田俊子
- 日時=4月22日[金]19:00開演・23日[土]14:00開演
- 会場=PLATアトスペース
- 料金=[全席自由・日時指定・整理番号付き] 一般:3,000円 ほか

4/24 SUN

春風亭小朝独演会

- ドラマ出演や音楽界とのコラボ、AKB48特別公演のプロデュースなど幅広い分野でその才気を発揮している小朝師匠が今年もやってきます。
- 出演=春風亭小朝 ● 日時=4月24日[日]13:30開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] 一般:3,500円/ユース[24歳以下]:2,500円

好評発売中

5/14 SAT—5/15 SUN

猟銃

中谷美紀主演! 熱い声に添えて、あの傑作が再び。初舞台にして、各演劇賞に輝いた文豪井上靖『猟銃』を完全舞台化。カナダ人演出家 フランソワ・ジラールが描く、三人の女のラブストーリー。登場人物は妻、愛人、そして愛人の娘。三人の女性の「手紙」に込めた一人の男への其々の愛を中谷美紀が体当たりの演技で表現します。

- 原作=井上 靖『猟銃』
- 翻案=セルジュ・ラモット
- 演出=フランソワ・ジラール
- 出演=中谷美紀
- ロドリゲ・プロト
- 日時=5月14日[土]・15日[日]
両日13:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] 一般:9,000円 ほか



好評発売中

チケットの購入・お問合せ

プラットチケットセンター

● 劇場窓口・電話

0532-39-3090

[休館日を除く10:00~19:00]

● オンライン

http://toyohashi-at.jp

[24時間受付・要事前登録]

プラットフレンズ募集

入会金・年会費無料

劇場窓口または劇場ホームページからご登録いただけます。

● 特典

- 1 公演情報をメールでご案内します。
- 2 インターネットでチケット予約ができます。
- 3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。



◆U24・高校生以下割引ご案内 ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。●料金=U24[24歳以下対象]:公演ごとに指定する席種の半額/高校生以下:一律1,000円 ●購入方法=各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。●その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。



第15回

芸術文化アドバイザー

平田 満の
ちよこつと
エッセイ

「アルの死」

昨年末、長年飼っていた猫が死にました。16歳、人間なら80歳代ということですから、天寿と言えるでしょう。晴れた日には表で日向ぼっこをしたり、夜はベッドに乗ってきたりして元気だったのですが、徐々に食事も少なくなり、じつとずくまっている時間が長くなりました。

前に飼っていた猫は、もともと野良猫だったせいか、やせ衰えた体でどこかにさまよい出て行ってしまい、最期を看取ってやれませんでした。今度はちゃんと見送ってやりたいと思いました。

水も飲まなくなり、いよいよ覚悟をしていたある日、手足を伸ばしたまま、目に力のない状態でみゃーみゃーとか細い声で鳴きました。しばらく撫でてやると静かに目をつぶります。夜が更けるまで何度か鳴いては撫でてやりを繰り返しましたが、やがておとなしくなり、明け方にはいつの間にか冷たくなっていました。

「猫はいまわの際に人を呼ぶ」とは聞いていましたが、それははかない、かわいらしい声でした。心細くて私たちを呼んだのでしょうか。それとも昔の元気だった頃を思い出していたのでしょうか。

とても悲しい出来事でしたが、それはほかのどの猫でもない、アルという一匹の猫の死でした。確かにこの世の中にアルは生きていた、という事実を実感しました。そして、生きるということはなんて愛おしく、命はなんとかかけがえないものか、ひしと感じたのです。

思えば命はその人、あるいはその生き物だけの本当にただひとつの大切なものです。生きる喜びを見いだせないでいる人も多いこの世の中、一人ひとりが生きている実感と、誰のものでもない一生を持てるようになってほしいと願ってやみません。

正月、久しぶりに集まった家族で、ほんのわずかになったアルの骨を散骨しました。日向ぼっこしていた濡れ縁、風の通る涼しげな軒下、木登りしていた庭木の根元にアルの面影を思い浮かべながら。



| | | | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|--------------------------------|---|
| <p>知識製造業 http://www.san-en.co.jp</p> | <p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川南町91-2 〒440-0035 Phone:0532-424-1331(代) Fax:0532-424-1332 浜松事務所 / 浜松市東区海通元町13 〒435-0007 Phone:0534-422-3628(代)</p> | <p>看板広告 アラキスタヂオ 豊橋市上伝馬町十六 電話 〇五五八六番</p> | <p>大島整形外科クリニック 院長 大島 毅 東田町井原三九の七(市電赤岩口駅直前) 電話 六二一五五一(一番代)</p> | <p>本豊川堂 カルミア店 五五二八八番 アピタ店 五五二八〇番 五五二八〇番 五五二八〇番</p> | <p>YMバレエ カンパニー ハロートップ 21 8610</p> | <p>有限会社 魚 伊 電話 52-5256</p> | <p>本と文具なら 精文館書店 TEL.54-2345</p> |
| <p>子約弁当承ります。 詳しくはプラットすたりにかまで TEL=0532-56-3500</p> | <p>医療法人 羔羊会 弥生病院 日本医療機能評価機構認定 渡辺のり子(東高2回生) 〒441-8106 豊橋市弥生町字東豊和96 TEL(大代)48-2211</p> | <p>伊藤 藤 文之 二一院</p> | <p>伊藤 藤 文之 二一院</p> | <p>伊藤 藤 文之 二一院</p> | <p>伊藤 藤 文之 二一院</p> | <p>伊藤 藤 文之 二一院</p> | <p>伊藤 藤 文之 二一院</p> |

| | | | | | | |
|---|--|--|--|---|---|---|
| <p>竹内産婦人科 産婦人科 婦人科(不妊治療) 豊橋市新本町 23 豊橋 竹内産婦人科 検索 Q</p> | <p>塩之谷整形外科 院長 塩之谷 昌 副院長 塩之谷 昌 豊橋市稲田町南取54 ☎(0532)25-2115(代)</p> | <p>harobaro コーヒーハロバロ 市民文化会館内にOPEN!</p> | <p>写楽集団・クラブ KAIHO パートII KOTARO DAIGOLAW NORI-G 法務 NOBU GUCCHI 法律 倫理 MATSUO TAKEDA 環境 管理 広域</p> | <p>株式会社 谷山建築設計事務所 豊橋市西羽田町一八三 http://fanyama-archi.com</p> | <p>豊橋調理製菓専門学校 調理と製菓のおいしい資格。 豊橋市八町通一丁目二二二 TEL 五三二八〇九</p> | <p>グロトリアンピアノ地域特約店 白羽楽器株式会社 電話 053-464-13015</p> |
| <p>ONOCOM 株式会社オノコム</p> | <p>YOSHINO ASSOCIATES architects & engineers http://www.440a.co.jp</p> | <p>安心・安全な地下駐車場 パーク500 プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。 ゾウの親子の看板が目印</p> | <p>稲荷煮し 壺屋弁当部 電話:0532-31-1133</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋市八町通一丁目二二二</p> | <p>豊橋市八町通一丁目二二二</p> |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---|---|---|--|----------------------|
| <p>気まぐれコンサート 事務局 / 0532-62-9259(小川恵司)</p> | <p>井上皮膚科クリニック ☎0532-55-7007 診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00 土 10:00~14:00 休診日:水・日・祝 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1 マイルストン1F</p> | <p>共和印刷株式会社 豊橋市小池町36番地の1 TEL 461-3228 FAX 461-3228</p> | <p>プラスワンの付加価値をお客様に提供いたします。 整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科 医療法人 大岩整形外科・皮フ科 院長 大岩 俊 久 豊橋市大橋通二丁目二二五 電話 五五二一〇〇</p> | <p>高誠堂 伝統的工芸品 豊橋筆 書道用品専門店 豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二一五五一</p> | <p>創業文政年間 日栄 義飯 ぎく宗 豊橋市新本町40 電話52-5473番</p> | <p>練物 專家 ねりや花ぞん コロンフロント ホテルアーケード内 豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋名産 舟ちくわ</p> |
| <p>生活にファインクオリティ sala</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> | <p>豊橋市西羽田町一八三</p> |

PLAT CALENDAR

3 MARCH

- 5 SAT — 6 SUN 市民と創造する演劇『夏の夜の夢』 ●PLAT主ホール
- 6 SUN ピアノ発表会 ●PLATアートスペース
- 12 SAT — 13 SUN オイスターズ第18回公演『この声』 ●PLATアートスペース
ひとすじの糸 ●PLAT主ホール
- 15 TUE — 17 THU 豊橋演劇鑑賞会 第253回例会 俳優座『もし、終電に乗り遅れたら…』 ●PLAT主ホール
- 19 SAT デュオ+ワン スプリングコンサート ●PLATアートスペース
- 20 SUN 第30回豊橋素人歌舞伎保存会 定期公演 ●PLAT主ホール
音楽を愛する会 in 多米 ダンス発表会 ●PLATアートスペース
- 21 MON 桜丘高等学校音楽科 第44回卒業生による演奏会 桜花爛漫 ●PLATアートスペース
- 26 SAT 豊橋中央高校吹奏楽部 第18回定期演奏会 ●PLAT主ホール
高柳鞠子×前田麻希 フルートデュオコンサート ●PLATアートスペース
- 27 SUN 県立蒲郡東高校 吹奏楽部 第10回定期演奏会 ●PLAT主ホール
PIN★LADY10周年祭～みんな一緒に歌いまshow! 踊りま笑!～ ●PLATアートスペース

4 APRIL

- 2 SAT さくらさくコンサート(ピアノ・エレクトーン発表会) ●PLATアートスペース
- 3 SUN 「日本のスマレ」刊行20周年&楽器用材植樹チャリティー
映像と音楽で綴る いがりまさしネイチャーワールド ●PLATアートスペース
- 9 SAT 誰もが笑顔になる歌とピアノのクラシックコンサート
ソプラノ峯島望美&ピアノ松永充代 デュオ・コンサート ●PLATアートスペース
- 10 SUN 菜の花歌まつり ●PLAT主ホール
- 16 SAT 二故 王胡会発表会 ●PLATアートスペース
- 22 FRI — 23 SAT 詩のリーディング『(お)もろい夫婦』 ●PLATアートスペース
- 24 SUN 春風亭小朝独演会 ●PLAT主ホール
音楽の翼コンサート はちまん正人+伊藤有希子 ●PLATアートスペース
- 29 FRI 東三河高校演劇文化発表会 ●PLAT主ホール
- 30 SAT 三山ひろし&市川由紀乃 ジョイントコンサート ●PLAT主ホール

[表紙写真] さすがに参加者が66名ともなると稽古もとてもにぎやか。『夏の夜の夢』は、市民が演技でも演奏でもスタッフでも大活躍の舞台になりそうです。

企画・発行=公益財団法人豊橋文化振興財団
編集=今井浩一
デザイン=松吉太郎デザイン事務所
写真[表紙]=伊藤華織
平成28年2月 発行18号 [隔月発行]

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
Tel.0532(39)8810[代表] <http://toyohashi-at.jp>
●開館時間=9:00~22:00
●休館日=毎月第3月曜[祝日の場合はその翌平日]

